

授業科目名	看護展開論Ⅱ (ヘルスアセスメント)	担当教員	◎休波茂子、渡邊八重子 鶴沢淳子、有家香
必修	開講年次：2年前期	単位：2単位	授業形態：演習 60時間

### 【授業概要】

人の成長、発達段階・健康レベルのアセスメントの技術を、問診とフィジカルアセスメントスキルをマスターすることによって取得する。学生はアセスメント技術をシステムごとに学び、対象者の発達段階と健康レベルを考慮したアセスメント技術を身に付ける。

### 【授業目的・目標】

1. 包括的な問診によるヘルスパターンのデータ収集と正しい記述（心理的、社会的、家族的、スピリチュアルな、文化的、遺伝学的データを含む）。
2. 頭部から足先までのフィジカルアセスメント（大人）の系統的な実演。
3. フィジカルアセスメントの所見の判断。
4. 人間の発達段階に適切な技術と所見の適切な判断。
5. データの統合と看護診断との連携。

### 【履修条件】

原則、看護展開論Ⅰを修得していること。

### 【授業計画】

[01] 看護ヘルスアセスメントの概念	(休波)
[02] 看護ヘルスアセスメントに必要な技術	(休波)
[03] 看護ヘルスアセスメントの視点（1）ゴードンの11の機能的健康パターン、健康知覚／健康管理パターンのアセスメント	(休波)
[04] 看護ヘルスアセスメントの視点（2）身体機能的健康パターンのアセスメント	(休波)
[05] 看護ヘルスアセスメントの視点（3）心理・社会機能的健康パターンのアセスメント	(休波)
[06] 事例アセスメントの方法	(有家)
[07] 演習：ヘルスアセスメントと「問診」	(有家・休波・渡邊・鶴沢)
[08] 演習：「問診」の実際	(有家・休波・渡邊・鶴沢)
[09] バイタルサイン、呼吸機能のフィジカルアセスメント	(休波)
[10] ～ [12] 身体診査法(1)「呼吸系のフィジカルアセスメント」／事例アセスメント①	(休波・有家・渡邊・鶴沢)
[13] 「循環機能のフィジカルアセスメント」	(休波)
[14] ～ [16] 身体診査法(2)「循環系のフィジカルアセスメント」事例アセスメント②	(休波・有家・渡邊・鶴沢)
[17] 「消化機能のフィジカルアセスメント」	(有家)
[18]・[19] 身体診査法(3)「消化系のフィジカルアセスメント」事例アセスメント③	(有家・休波・渡邊・鶴沢)
[20] 「脳神経系機能のフィジカルアセスメント」	(有家)
[21]・[22] 身体診査法(4)「脳神経系のフィジカルアセスメント」事例アセスメント④	(有家・休波・渡邊・鶴沢)
[23] 「運動機能のフィジカルアセスメント」	(有家)
[24]・[25] 身体診査法(5)「運動機能のフィジカルアセスメント」事例アセスメント⑤	(有家・休波・渡邊・鶴沢)
[26] 身体審査法(6)「乳房・生殖系、リンパ系のフィジカルアセスメント」 身体審査法(7)「皮膚・毛髪・爪のフィジカルアセスメント」 身体審査法(8)「顔面・頭部・頸部のフィジカルアセスメント」	(有家)
[27] 「看護過程とヘルスアセスメント」	(休波)
[28] ヘルスアセスメントの方法（技術確認）、事例アセスメント⑥	(休波・有家・渡邊・鶴沢)
[29]・[30] 基礎看護学技術統合演習（グループワーク、発表）	(休波・有家・渡邊・鶴沢)

### 【教科書】

1. 松尾ミヨ子他編集（2018）. 基礎看護学② ヘルスアセスメント 第5版, MCメディカ出版

### 【参考書】

1. 山内豊明著（2011）フィジカルアセスメントガイドブッカー目と耳でここまでわかるー, 医学書院
2. 横山美樹執筆（2009）はじめてのフィジカルアセスメント, メジカルフレンド社

### 【評価方法・評価基準】

筆記試験 60%、技術確認試験 20%、事例アセスメントレポート 20%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された課題の記述、事例アセスメントの記述

事後学習：講義資料をもとに学習内容の復習、フィジカルアセスメント技術の訓練

### 【教育目標との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅵ. ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力と関連する。

### 【試験や改題レポートなどに関するフィードバック】

事例アセスメントレポートはその都度担当教員が評価をして返却をする。

### 【備考】

この科目は、看護展開論Ⅰ（ナーシングプロセス）の理解が必要不可欠である。また事例演習で行われるアセスメントの記述が十分に行われていなければ基礎看護学臨地実習Ⅱの受け持ち患者の理解に影響があるため理解をしておくこと。